

一部事務組合下北医療センター むつ総合病院情報

MUTSU GENERAL HOSPITAL
GUIDE BOOK



<http://www.hospital-mutsu.or.jp/>

【基本理念】

信頼される病院になる

【基本方針】

1. 良質な医療の提供に努めます
2. 満足度の高い医療に努めます
3. 安全安心な医療に努めます
4. 挨拶と笑顔、心のこもった接遇に努めます
5. 健全な病院経営に努めます
6. 優れた医療人の育成に努めます

【患者の権利と義務】

私たちは、信頼される医療を目指すため、患者の権利と義務をここに示します。

1. 良質な医療を受ける管理があります
2. 個人情報を知り自己決定する権利があります
3. セカンドオピニオンを求める権利があります
4. 個人の尊厳とプライバシーが守られる権利があります
5. 医療スタッフと協力し、診療に参加する義務があります

【患者数ほか実績】

1日平均患者数（平成28年度）

・入院 370.7人・外来 1.089.7人

病床利用率（平成28年度）

- ・一般 83.8%
- ・メンタル 85.6%
- ・合計 84.0%

救急車搬送（平成28年度）

・6.8件/日

救急外来患者数（平成28年度）

・21.6人/日

手術件数（平成28年度※全身麻酔のみ）

・65.6人/月

分娩件数（平成28年度）

・262件

【入院棟別病床数】

病棟名	病床数	診療科名
ICU	4床	ICU4
2階病棟	59床	外科44、泌尿器科3、内科12
3階病棟	38床	産科18、婦人科17、内科3
4階病棟	72床	整形外科63、歯科口腔外科2 内科5、共有ベッド2
5階南病棟	24床	小児科22、内科2
5階北病棟	26床	脳神経外科20、耳鼻咽喉科 4、内科2
6階病棟	70床	内科70
7階病棟	69床	循環内科46、泌尿器科21、 皮膚科2
精神病棟	54床	メンタルヘルス科54
感染病棟	4床	

※血液浄化センター 50床

※精神科病棟 措置入院に係る指定病床数 5床

【診療科】

標榜診療科 21科

内科 産科 小児科 リハビリテーション科
 消化器内科 婦人科 皮膚科 形成外科
 循環器内科 眼科 泌尿器科 歯科口腔外科
 外科 耳鼻咽喉科 脳神経外科
 消化器外科 整形外科 麻酔科
 放射線科 心臓血管外科 メンタルヘルス科

【病床数】

稼働病床数 420床

- 一般病棟 362床
- メンタルヘルス病棟 54床
- 感染病棟 4床

【職員数】

692人（平成29年4月1日現在）

医師	55人	理学療法士	14人
歯科医師	1人	作業療法士	11人
保健師	1人	言語聴覚士	2人
助産師	9人	管理栄養士	3人
看護師	299人	栄養士	2人
准看護師	21人	精神保健福祉士	2人
薬剤師	11人	社会福祉士	4人
診療放射線技師	23人	その他技師	4人
臨床検査技師	25人	事務員	143人
臨床工学技士	6人	その他職員	56人



【沿革】

明治7年8月
私立病院済衆社田名部分院として創立

明治12年1月
公立田名部病院として独立

昭和11年11月
院舎新築落成。病床36床となる

昭和38年6月
精神神経科50床増設。260床となる

昭和44年2月
「市立むつ総合病院」と改称

昭和46年4月
組合に移管。基幹病院となり『むつ総合病院』と改称

昭和52年8月
病棟改築工事完成。472床となる

平成5年12月
東西診療棟建物完成。病床数483床となる

平成9年8月
災害拠点病院となる

平成11年4月
第二種感染症指定医療機関に指定
487床となる

平成12年12月
初期被ばく医療機関に指定される

平成14年3月
救急告示病院に指定される

平成16年4月
医師臨床研修開始

平成20年1月
敷地内全面禁煙とする

平成20年2月
地域がん診療連携拠点病院となる

平成23年12月
新メンタルヘルス科診療棟の完成

平成28年4月
DPC実施病院となる

平成29年4月
血液浄化センター稼動

【主な機関指定】

(平成29年4月1日現在)

- 機能評価機構認定病院
- へき地医療拠点病院
- 救急告示病院
- 災害拠点病院
- 臨床研修指定病院
- 第2種感染症指定医療機関
- 難病医療指定医療機関
- 地域周産期母子医療指定病院
- 原子力災害医療協力機関
- 地域がん診療連携拠点病院

【主な教育指定】

(平成29年4月1日現在)

- 卒後臨床研修評価機構認定病院
- 日本泌尿器科学会専門医基幹教育施設
- 日本外科学会専門医制度修練施設
- 日本臨床細胞学会認定施設
- 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- 日本麻酔科学会麻酔科認定病院
- 日本集中治療医学会専門医研修施設
- 日本高血圧学会専門医認定施設
- 日本大腸肛門病学会認定施設
- 日本てんかん学会認定研修施設

【主な設置基準】

(平成29年4月1日現在)

- 一般病棟10対1入院基本料
- 看護必要度加算2
- 急性期看護補助体制加算(50対1)
- 精神病棟15対1入院基本料
- 看護配置加算
- 看護補助加算1
- 医療安全対策加算1
- 感染防止対策加算1
- 感染防止対策地域連携加算
- 特定集中治療室管理料3
- 小児入院医療管理料4

医療の提供

信頼と良質な医療の提供



内視鏡システム



内視鏡システム



中央手術部

◆ 内視鏡 (Endoscope) ◆

早期癌の内視鏡切除や胆管結石の採石等の治療および吐血、下血、腹痛など、突発的に生じる症状で救急受診する患者さんも多く、当院では夜間や休日にもチームを組んで対応しています。検査件数も年間約6,000件、処置件数も年間1,000件近くになります。

【検査】

- ① 上部消化管 (GF)
- ② 下部消化管 (CF)
- ③ ERCP (胆膵内視鏡)

【処置】

- ① 止血 (含硬化療法)
- ② 内視鏡切除術 (ホリパトミ含む)
- ③ EST (結石摘出) など

◆ 手術 ◆

地域基幹病院として、肝臓に対するラジオ波焼灼術など高度医療にも積極的に取り組んでいます。高度医療機器を取り揃え、一刻を争う場合にも迅速に対応できる体制が整っています。

手術室は全部で7室。常勤麻酔科医は2名、看護スタッフは13名で年間2,000件近くの手術に対応しています。

◆ カテーテル ◆

当院の機器は、平成23年導入で2箇所より撮影できるパイプレンタイプであります。カテーテルは血管に2mm前後の太さの筒を挿入し、そこから、各治療器具を挿入して行うので、外科的バイパス手術よりも浸襲の少ない手術が可能です。狭心症、心筋梗塞、下肢動脈の狭窄、不整脈に対して、ステント治療を行っております。近年では様々な手技があり、診断だけでなく血管造影手技を応用し、血管性病変・腫瘍などの治療を行うIVRが主流になっています。



心臓カテーテル室

臨床研修

充実した指導体制と研修環境

当院の臨床研修の特徴

1 豊富な症例

むつ総合病院は、本州最北端に位置し、約10万人の医療圏をもつ当地域では唯一の総合病院で、2次救急病院としての大きな役割を担っています。しかし、県内の主要都市から遠隔にあるため、実際には1次から3次救急まで幅広い診療を行っており、高次病院では経験出来ないような症例が多数あり、初期臨床研修としては最適な状況にあります。

2 追跡方法の徹底

プライマリ・ケアの診療能力を身につけることを指導の基本理念とし、その為の方法として、研修医が受け持った症例の一部について、各科の壁を越えて一貫して診ていくという「追跡方式」を採用しています。



研修風景



研修医宿舎

【臨床研修医宿舎】

- 建設年月日
平成26年4月1日
- 部屋数
全16部屋

- 主な室内設備
ベッド、TV、電子レンジ、ドラム式洗濯乾燥機、机、机、冷蔵庫、IT机、ストーブ



院内勉強会



室内

看護局

信頼される看護の提供

【看護理念】

私たちは、患者を中心とした信頼される看護を提供します。

【基本方針】

- 1、患者を最優先に考えて看護をします。
- 2、患者と家族の話をよく聴きます。
- 3、患者に提供する看護について説明をします。
- 4、患者に質の高い看護を提供する為に自己研鑽に努めます。

【看護外来】

退院前や外来で医師や看護師から聞いたけど、もっと詳しく知りたい・不安だ・きちんとやってるつもりだけど確認してほしい・最近、こんな症状が気になるなど。

そんな疑問や相談に、専門領域の看護師が予約制で応じるのが看護外来です。

- ・授乳の時ちょっと痛い
- ・そろそろ卒乳かな



①糖尿病ケア 月・水曜日 8:30~11:30
フットケア
毎週火曜日 13:00~16:00

- ・糖尿、注射指導、透析予防に関する事

②皮膚・排泄ケア(1日4件まで)
火曜日・木曜日 8:30~11:30

- ・床ずれ、ストーマに関する事

③母乳ケア
火曜日 13:00~16:00

- ・母乳育児に関する事

予約方法

- 受付時間は8:30~16:00になります。
- 各時間帯3名までで、事前に予約が必要になります。
- お問い合わせ先(予約先) 糖尿病ケア、母乳ケア・・・・・・医事課(内線3321)
皮膚・排泄ケア・・・・・・医事課(内線3321)

【術前外来】

術前外来とは、手術前日または当日に麻酔科医師による麻酔の説明、手術部看護師による訪問をしております。疑問や心配があるかと思いますが、安心して当日を迎えるよう、サポートしていきます。

2014年10月に青森県で初めて開設し、2015年12月までに229名の患者さんが受診されました。



- 電話予約受付時間 : 月曜日~金曜日 9時~11時
- 電話番号 : 0175-23-7817(直通) むつ総合病院 中央手術部
- 術前外来時間 : 月・火・木曜日 9時~11時 水・金曜日 10時~11時
- 所要時間 : 45分~1時間程度

医療支援部門①

高度医療の提供



錠剤分包器



調査室



粉剤分包器



【リハビリテーション科】

急性期からの入院リハビリテーション（理学療法・作業療法・言語療法）を行い、早期の機能回復と早期の退院を目指して援助や指導を行っています。



言語療法室



理学療法室



作業療法室

【栄養管理科】

病気の回復に適した普通食と患者さんごとに適した特別食の提供を行っています。また、管理栄養士による食事指導も行っていますので、お気軽にご相談下さい。



調理室



【薬剤科】

患者さんにとってより優れた薬物療法を提供できるよう、薬の適正使用に日々努めています。主な業務として内服薬調剤、注射薬調剤、抗がん剤の無菌調剤、服薬指導や院内医薬品情報提供などを行っています。また、緩和ケアチームやICTに参加し、医師や看護師などのスタッフと共に医療に携わっています。

【臨床工学科】

人工呼吸器、補助循環装置、血液浄化装置、除細動器、保育器、輸液ポンプ、AEDなど医療機器の操作及び保守・点検を行っています。手術室、心カテ室、人工透析室での業務も行っていきます。

【中央検査科】

検体検査では、肝機能、血液検査、一般検査、細菌検査、病理、輸血検査があり、生体検査は、心電図や超音波検査などを行います。全自動検査システムを備え、緊急に対応した運用により、24時間体制で検査を実施しています。



人工呼吸器



血液浄化センター



生化学分析装置



免疫検査装置



除細動装置



MEセンター



血液検査装置



医療支援部門②

【中央放射線科】

X線一般撮影装置をはじめ、CT・MRI・RI・放射線治療装置・一般血管撮影装置・心カテ装置・マンモグラフィ装置・歯科パノラマ装置など最新医療機器を備え24時間体制で対応しています。



放射線治療装置

放射線治療装置×1台

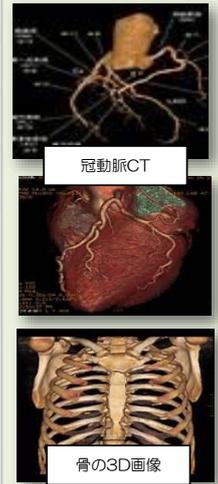
放射線治療は、悪性腫瘍治療の三本柱（手術・化学療法・放射線治療）の一つであり、手術と同じ局所療法です。組織を切除せずに、腫瘍を死滅させるため、臓器機能や形態を温存しつつ治療出来るメリットがあります。治癒を目的の根治照射・再発を防止する予防照射・苦痛の軽減を目的とした緩和照射などがあり、患者さんの治療方針に応じて照射方法を選択します。



CT装置

CT装置（64列×2台）

2015年8月より、多列方CT装置(MDCT)が稼動しており、検査時間の短縮や緊急を要する検査・高度検査にも対応可能です。検査時の被ばく低減にも心掛け、より高画質な画像を提供しています。最新の画像解析装置を使用し、心臓の冠動脈解析など、様々な3次元構成処理を行い、より質の高い検査を提供しています。



冠動脈CT

骨の3D画像



MRI装置

MRI装置（1.5T×1台）

MRI検査とは、X線装置やCTのようにX線を使用しません。代わりに磁石と電波を用い体内を断面像として描写する検査です。そのため被ばくの心配がなく、特に脳・卵巣・前立腺等の下腹部・脊椎・四肢などの病巣の検査に対しては、高い検査能力を発揮します。



マンモグラフィ

マンモグラフィ装置×1台

近年、乳がん罹患する患者さんは増加傾向にあります。乳がんは、非常に微細な病態（腫瘍や石灰化）を示すため、当院では、専用の機器を用いて患部を撮影しています。

また、マンモグラフィ読影認定医・撮影認定技師も常勤しており、安全安心な検査を心掛けています。



核医学検査装置

核医学 (RI) 検査装置×1台

骨疾患・腫瘍・炎症疾患をはじめとし、脳・心臓・甲状腺・肺・腎臓・リンパ管など多くの検査、診断を行っています。核医学検査は検査内容により、前処置が必要となり、予約が必要です。



地域への取り組み（地域連携部）

地域医療連携の強化・推進を図る

むつ総合病院では、住民の皆さんにとって、良質で安全な医療を提供するため、地域の病院や診療所・クリニックと連携して診療を行っております。専門的または急性期医療を、むつ総合病院が担当し、症状が落ち着いている方の定期的診察や投薬等はかかりつけの診療所・クリニックが担当するという、病院と診療所の連携を推進しております。急性期医療を担う病院としての機能を十分に発揮できるために、かかりつけ医師の推奨、さらには県内外のさらなる高度・専門的治療へと紹介・転院など、今後も下北地域の拠点病院として連携を進めていきます。

- 医療連携・・・病診・病院連携に関すること
- 医療相談・・・医療・看護・がんに関する相談、医療費に関する事、退院後の療養先に関すること等
- 地域連携・・・訪問看護・訪問診療業務、訪問看護に関する相談



看護師等修学資金貸与制度

【募集対象】

看護師、助産師、臨床工学技士の免許取得後、むつ総合病院に就職して、その業務に従事しようとする方で、専門学校・大学等の養成施設に進学する方が対象となります。（居住地、出身地は問いません）
※臨床工学技士にあっては、現在修学している方も対象とします。

【選考基準】

申請書類により、志望動機、家族構成及び経済的状況等を総合的に判断したうえで、決定します。

【貸与期間】

貸与される方が在学する養成施設の正規の修学期間
※休学又は停学を受けた期間は、貸与しません。

【貸与額】

月額50,000円

【返済免除】

貸与期間以上に、むつ総合病院で勤務した場合は、返済が免除されます。

【提出書類】

- ① 修学資金貸与申請書
- ② 在学している養成施設の在学証明書
※在学証明書は、修学期間中毎年提出していただきます。

【問い合わせ、申請書類提出先】

〒 035-8601
青森県むつ市小川町1丁目2番8号
むつ総合病院 総務課 人事係
TEL 0175-22-2111（内線3873）



臨床工学技士



案内地図及びアクセス



- JR青森駅から
鉄道 約1時間50分
車 約2時間10分
- JR八戸駅から
鉄道 約1時間40分
車 約2時間15分
- 青森空港から
車 約2時間20分
- 三沢空港から
車 約1時間40分
- JR下北駅から
車 約5分



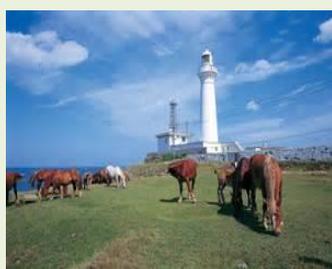
日本三大霊場
恐山



むつ市の夜景



北限のサル



尻屋の寒立馬



【一部事務組合下北医療センターむつ総合病院】

- 〒035-8601 青森県むつ市小川町1丁目2番8号
- TEL 0175-22-2111 (代表)
- FAX 0175-22-4439
- E-Mail soumu@hospital-mutsu.or.jp